

虫による皮膚病



今回はよくみる皮膚病で、虫によるものを集めてみました。このなかには伝染するものもありますので、専門医で正しい治療を受けましょう。

アオバアリガタハネカクシ



アオバアリガタハネカクシ

俗名ヤケドムシと言われ、ヤケド様症状をおこします。初夏の雨上がりに灯りに飛来して、害を与えます。原因は虫の体液ですから、触ってはいけません。

家ダニ



フトツメダニ



ツメダニ、イエダニ、サシダニなどが原因で、夏場にみられます。激しいかゆみを伴います。新しい畳にも要注意です。

ノミ



ネコノミ



おもに夏場に膝から下にブツブツをつくります。ひどい場合には水ぶくれができ、かゆみが長く続きます。ほとんどが猫により伝播します。

アタマジリミ



アタマジラミ

プールでもうつります。特効薬がありますので心配はいりません。伝染しますから注意して下さい。

毛虫



チャドクガ幼虫

椿、山茶花、茶、バラなどで繁殖するチャドクガの幼虫が主な原因です。繭、蛾でも被害に会います。毒針毛が皮膚に刺さって赤いブツブツができます。



疥癬虫



疥癬虫



指間、陰部などの柔らかい部分に寄生します。激しいかゆみがあります。人から人にうつり、ザコ寝病ともいわれます。伝染病の一種ですので、集団でかかることがあります。

平成4年11月12日は、皮膚の日です。